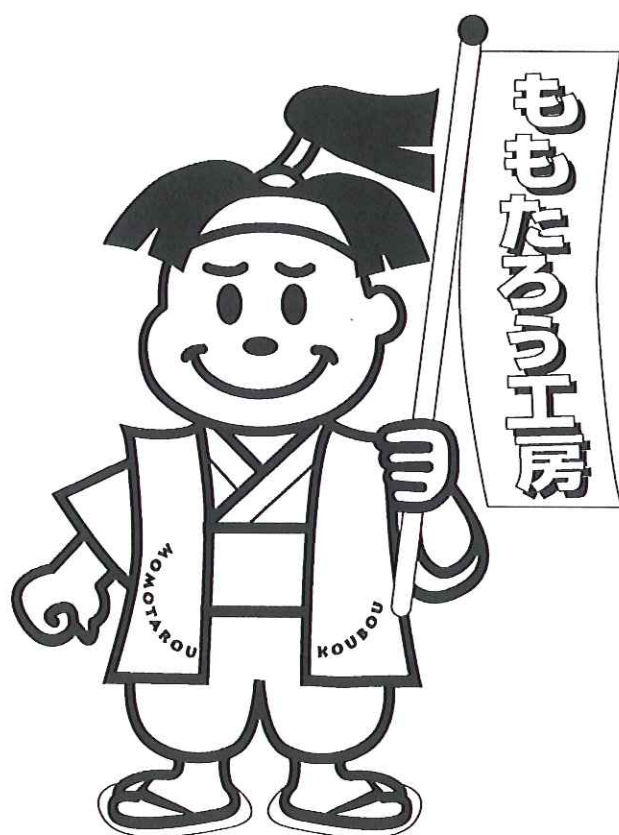


平成25年度

事業報告書



社会福祉法人

大洲育成園

平成 25 年度 事業報告

施設長 東谷弘子

1. 事業環境

平成 25 年 4 月から「障害者自立支援法」にかわり「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」が施行となりました。障害者の日常生活・社会生活の支援が、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、社会的障壁の除去に資するよう、総合的にかつ計画的に行われることを法律の基本理念として新たに掲げられ、「制度の谷間」を埋めるべく、障害者の範囲に難病等が加えられました。それから、「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達推進等に関する法律(障害者優先調達推進法)」が施行されました。

大洲育成園は知的障害者更生施設から障害者支援施設に移行し、2 年目を迎えました。引き続き障害者の居住支援である施設入所(定員 90 名、平成 26 年 1 月より 88 名に変更)と日中活動支援の生活介護(定員 75 名)、一般就労を目指した就労移行支援(定員 20 名)と施設障害福祉サービスの提供に努めました。

短期入所、日中一時支援の利用が減少傾向にありますが、施設入所 2 名減員を短期入所定員 2 名増の 6 名とし、在宅障害者の施設利用枠を広げました。

相談支援事業において、地域相談支援事業である地域移行支援と地域定着支援については実績が無く、昨年度から開始された計画相談が事業の中心となることから、指定の取り下げをしました。

2. サービスの充実と向上

平成 24 年 10 月 1 日に障害者虐待防止法が施行され、大洲育成園においては、利用者の人権の擁護、虐待の防止等の体制整備として、「虐待防止・虐待対応時マニュアル」を作成しました。利用者の人権擁護の意識を高め、地域に開かれた施設として、利用者が安心してサービスを利用できるよう、支援者一人ひとりが周知・徹底するよう研修等を重ね、また、虐待防止に係るチェックリストを自己評価に活用し、虐待防止に努めることとしました。

また、火災、地震、土石流発生時の利用者及び職員の安全を確保し、防災のための体制整備や被害の防止と軽減を図るための「防災計画」を作成しました。自然災害時等の備えとして、さらに安全、安心のため確実なものにすることとしました。

そして、年度当初に各作業班や担当業務毎にサービス向上を目指し、それぞれで目標を掲げて 1 年間を通して取り組みました。

部門	目標等
生活班	連絡ノートを利用し、利用者の情報を確実に共有し、支援の統一を図る。
訓練班	機能低下防止対策に取り組む。
手工芸班	職員自ら制するためサービス規程順守する。
農園芸班	ラジオ体操の実施、オリジナル体操を作成する。
就労移行	工賃アップを目指す。利用者の悩み相談受付を実施する。
医務	運動機能の低下予防のための器具整備と支援、機能訓練の充実を図る。
相談	業務内容を確実なものにする。計画相談の事務処理の整備をする。
事務	会計上等のデータの開示を行う。

3. 人材の確保（職員数）

職種	施設長	サービス管理責任	生活支援員	職業指導員	就労支援員	指導員	相談支援専門員	看護師	機能訓練指導員	管理栄養士	調理員	書記	医師（嘱託医）	その他の雇用員	計
平成 25 年 4 月 1 日現在	1	3	25	1	1	2	2	1	1	1	6	3	2	1	50
減員			5										1		6
増員			6											2	8
平成 26 年 3 月 31 日現在	1	3	26	1	1	2	2	1	1	1	6	3	1	3	52

職員退職により補充のため、生活支援員等の求人を行いました。応募者が少なく、男性支援員の不足が生じましたが、女性支援員の配置により充足に努めました。

嘱託医のうち内科医師 1 名が退職されました。

4. 施設整備の保全

電気の省エネ・省コスト対策を図るために、電気の「見える化」を実現したデマンド監視装置を設置し、節電への意識を高め、経費節減につなげることにしました。

施設の電気設備点検時に非常用発電装置の充電回路の不良が見られ、災害時等の非常時の安全のため取替工事をする事となりました。

障害者支援施設大洲育成園

平成 26 年 3 月 31 日現在

1. 利用者状況

(1) 年齢構成

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	計
男	1	2	5	19	17	2	0	46
女	0	1	0	21	17	2	1	42
計	1	3	5	40	34	4	1	88

(2) 障害程度区分

区分	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	計
生活介護	15	23	18	17	0	73
就労移行	0	1	5	7	2	15
人数	15	24	23	24	2	88

(3) 在籍状況

在籍年数	0～9	10～19	20～29	30～39	40～	計
人数	10	9	6	31	32	88

(4) 行政機関

大洲市	八幡浜	宇和島	西予市	松山市	伊予市	内子町	伊方町	愛南町	松前町	計
29	12	8	10	6	1	13	4	3	2	88

2. 利用実績

【施設入所】定員 90 名（4 月～12 月）88 名（1 月～3 月） 利用率 97.1%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	90	89	89	89	88	88	88	88	88	88	88	88
延数	2642	2699	2638	2724	2664	2610	2709	2614	2675	2631	2448	2698

【生活介護】定員 75 名 開所日数 244 日 利用率 96.5%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	75	74	74	75	73	73	73	73	73	73	73	73
延数	1539	1529	1458	1607	1557	1372	1584	1445	1371	1377	1377	1444

【就労移行】定員 20 名 開所日数 244 日 利用率 70.4%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
延数	309	313	280	307	299	266	308	280	265	265	266	279

施設入所支援

生活指導主任 徳永 香代子

障害者支援施設大洲育成園サービス利用契約書・重要事項説明書に基づいて支援を行った。入所する利用者につき、主として夜間において、入浴、排せつ及び食事等の支援、個々に必要な適切な生活習慣が確立され、快適な生活を送ることができるように、また社会生活への適応性が高められるよう、あらゆる機会を通して支援を行った。

利用者の解決すべき課題を把握した上で、サービス管理責任者が個別支援計画を策定し、利用者 とサービス管理責任者・フロア長・生活支援員・看護師・栄養士で検討会議を持ち、評価等を行い、利用者及び保護者の同意のもと計画に沿って支援を行った。

日常生活支援（食事、排泄、入浴、着脱衣、整容・洗面、洗濯、整理整頓、安全管理）

日中活動支援（生きがい支援等、余暇支援）

社会生活支援（コミュニケーション、経済支援、情報提供、人間関係、地域生活移行、相談及び援助、行事活動等）

保健医療（健康管理、服薬管理、通院処置等）

苦情対応、虐待防止

【総括】

食事、服薬、入浴支援などの各手順書及びマニュアルに沿って支援をしたが、個々に必要な取り組みや対応マニュアル等が十分に共有化できず、ひやり・はつとや転倒などの事故が起きている。対策がしばらくするとお置き去りになり、徹底した支援が継続できていなかった。

機能、筋力的低下に伴い、移動に1対1の支援が多く必要になっている。入浴は、男女週4回を基本とし、車椅子や歩行器使用者の中で男性5名・女性7名は特殊浴槽を利用した。

6月10日から嘔吐下痢発熱症状を発症、6月25日静養者なく終息した。1月16日から利用者より嘔吐下痢発熱症状を発症、感染性胃腸炎の集団発生が免れず、八幡浜保健所より感染症予防の指導を受けた。感染予防対策会議等で検討し、八幡浜保健所から指導を受けた分野に重点をおいて予防に努め、職員全員に周知徹底し、情報の共有化に努めた。対策を徹底するに10日間は入浴を中止し、全員清拭を行った。2月3日静養者なく終息した。

余暇支援として、土曜日の午後（13：15～15：00）歩行、軽スポーツ、カラオケを中心に利用者の自由選択で実施した。また、地域のボランティアを受け入れ、歌等で友好の輪を広げた。

園内行事としては、9・3月にレクリエーションを実施した。障害者スポーツ大会・ソフトボール大会・バレーボール大会等に参加し、施設間での交流を深めた。

市町からの給付費代理受領をはじめ、利用者負担金支払い、預り金収支決算等金銭管理サービスについて、随時、利用者及び保護者に説明報告をした。広報誌「つばさ」を発行し、園内の情報や、市・県の広報誌、他の施設の「施設だより」等フロアの掲示板や食堂に掲示し、情報提供に努めた。掲示方法など工夫の必要がある。

個別支援会議

	フロア	月	件数	内 容	
施設入所支援・生活介護	1 F 男性	4月	2	血糖値測定・無断外出対応	4月に2名の入退院、5月に1名入院、6月に1名が2回入退院、7月に1名の入退院、11月に2名の入退院、12月に1名の退院、1月に1名の入院、2月に退院、3月に1名の入院対応の対応の個別支援会議を行っている。
		5月	1	褥瘡の対応	
		6月	1	白内障手術について	
		7月	4	褥瘡完治に向けての支援について 腸閉塞治療後の対応・退院に向けての対応について・退院不可者の処遇に関して	
		8月	4	モニタリング、計画の見直し	
		9月	15	モニタリング、計画の見直し	
		12月	1	成人のお祝いについて	
		2月	1	モニタリング、支援計画作成	
		3月	17	モニタリング、支援計画作成	
	1 F 女性	4月	4	車椅子購入・情緒不安定時の対応 歩行支援について	12月に1名の入院対応、1月退院後の対応の個別支援会議を行っている。
		5月	1	歩行器購入について	
		6月	7	褥瘡の対応・車椅子購入における対応	
		7月	1	情緒不安定時の対応	
		8月	1	モニタリング、計画の見直し	
		9月	19	モニタリング、計画の見直し	
		10月	1	情緒不安定時の対応	
		2月	1	モニタリング、個別計画作成	
		3月	19	モニタリング、個別計画作成	
	2 F 男性	6月	1	たばことライターの管理について	
		8月	11	モニタリング、計画の見直し	
		9月	8	モニタリング、計画の見直し	
		11月	1	義歯の洗浄保管について	
		2月	6	モニタリング、個別計画作成	
		3月	13	モニタリング、個別計画作成	
	2 F 女性	8月	6	モニタリング、計画の見直し	9月には1名の入院対応、10月に退院後の対応の個別支援会議を行っている。
		9月	10	モニタリング、計画の見直し	
		10月	2	食事時間を守る、服薬支援について	
2月		8	モニタリング、個別計画作成		
3月		8	モニタリング、個別計画作成		
就労移行支援	6月、9月、12月、3月と3カ月ごとのモニタリング、計画の見直しを実施する。				
	職場実習の利用者に対しては1週間毎にモニタリングを実施し、個別支援の見直しと計画を立てた。				

実施行事

サービス管理責任者 中野利子

園内の行事	地域行事	福祉協会等関係行事
お花見(3/29) 園周辺にて各班に分かれて実施	3/30(土) 平曾地区総会、懇親会 役員改正、24年度決算報告 25年度予算案報告 利用者3名出席	5/11(土) 南予福祉施設会ソフトボール大会 野村町運動公園にて選手13名参加
4/20(土) 保護者の会総会 役員改正、24年度決算報告 25年度予算案報告	5/21(土) 竹内雅子さんの慰問 ボランティアで歌と踊りを披露	5/26(日) 愛媛県障害者スポーツ大会 愛媛県総合運動公園にて、 選手26名、応援14名参加
5/12(日) プロ野球観戦ツアー 坊っちゃんスタジアムにて、ヤクルト対阪 神の野球観戦をする。12名参加	7/11(木) 参議院議員選挙期日前選挙 (大洲市役所) 87名投票に行く。 7/14(日) 大洲市一斉掃除 利用者14名参加	6/15(土) 南予福祉施設会レクリエーションハ レボール大会 八幡浜市民スポーツセンターにて 選手10名、応援24名参加
(6/30予定の家庭の日は感染症発生の 為中止)	7/21(日) 水天宮花火大会17名参加	7/3(水) 第33回福祉のつどいソフトボ ール大会南予地区大会
7/30(火) 宝塚宙ツア-松山公演観劇 29名参加	7/24(水) 新谷夏まつり 8名参加	西予市野村町運動公園にて 選手11名、応援16名参加
7/31(水) 外回りの大掃除	8/3(土) 大洲川まつり花火大会 9名参加	9/21(土) 大洲市障がい者親善ソフトボ ール大会 喜多小裏河川敷にて 選手12名、応援9名参加
8/6(火) 園内大掃除	8/4(日) 大洲川まつり花火大会 8名参加	
8/10(土) 桃太郎工房夏まつり	8/17(土) 大洲学園夜市盆踊大会 27名参加	10/23(水) 大洲市障がい者スポーツの集 い 大洲市総合体育館にて86名参加
10/5(土) レクリエーション(ミニ運動会) 雨天の為、日常生活訓練室で ミニゲームを行う。	8/18(日) YOSAKOI祭り2013見学 11名参加 9/3(火) 大洲市長選及び大洲市議会議 員選挙期日前投票 (大洲市役所) 86名投票に行く。	10/27(日) 南予福祉施設会福祉まつり (ウォークラリー: 北宇和郡松野町森の国 ドーム・遠足班: 虹の森公園内河川敷 広場) 37名参加
10/20(日) 家族交流の日(芋炊き)		11/7(木)~8(金) 第31回ゆうあい スポーツ四国香川讃々大会 香川県立丸亀競技場にて 選手12名参加
11/26(火) 園内大掃除	9/7(土) 大洲隣保管まつり 販売に桃太郎工房の2名参加	12/8(日) 大洲手をつなぐ育成会主催 第54回クリスマス会 平公民館にて、18名参加
12/7(土) イルミネーション	9/10(火) 大洲警察署警察官交流会 12名来園、ゲームやカラオケをする。	
12/12(木) 大掃除(ワックスがけ)	9/13(金) 平小学校児童交流会5年生 児童56名、引率職員4名来園	
12/25(水) 園内クリスマス会 大洲喜多法人会よりクリスマスケーキ のプレゼントを受ける。	10/8(火) 平小学校児童交流会5年生 児童56名、引率職員4名来園 10/27(日) 朝日シアターASA観劇 「3ひきのくま・みにくいあひるのこ」 6名参加	
12/28(土) 正月飾り作り、取り付け 利用者4名参加		
12/30(月) 職員退職お別れ会	11/3(日) 大洲まつり(お祭り村・浪 漫祭) 17名参加	
1/1(水) 初詣(一之宮神社) 14名参加	11/15(金) 平小学校児童交流会5年生 児童56名、引率職員4名来園	
1/2(木) 初詣(大洲八幡宮神社に2名 参加・大洲神社に13名参加)	11/10(日) 「福祉と健康づくり市民の 集い」 17名参加(即売に8名参加)	
1/13(月) Tさんの成人のお祝い会		
1/19~20、1泊2日別府旅行20名参加	11/15(金) 平小学校児童交流会5年生 児童56名、引率職員4名来園	
2/3(月) 節分(豆まき) 各班にて実施	12/8(日) 一歩会餅つき 20名来園され、4,5臼分つく。	
2/7(金)・12(水) エミル自由散策ツア- 2日に分かれて実施。計43名参加	3/21(金) 菜の花フェスタ 29名参加	
2/20(水) レクリエーション 観劇ツア- 「坊ちゃん劇場」で「奇想天外/げん ない」を観劇する。24名参加		
3/3(月) ひな祭り(雛人形飾る)	毎月第1日曜日、業者散髪(竹内理容館) 園内散髪を実施している。	

スポーツ大会

月	日	曜	種目	場所	参加者・成績
5	11	土	平成25年度南予福祉施設会 ソフトボール大会	西予市野村町運動公園	利用者9名・職員5名 (応援4名・職員1名) 1回戦 育成園0 -1 松葉学園 2回戦 育成園1 -7野村育成園
5	26	日	第8回愛媛県障害者スポーツ大会	愛媛県総合運動公園 陸上競技場, 補助体育館等	利用者26名・職員7名(大会役員3名含) (応援14名・職員4名)
6	15	土	平成25年度南予福祉施設会 レクリエーションバレーボール大会	八幡浜市民スポーツセンター	利用者10名・職員4名(応援24名・職員6名) 1試合 育成園 0-2 豊正園 2試合 育成園 0-2 フレンドまつの
7	3	水	第33回福祉の集い ソフトボール南予地区大会	西予市野村町運動公園	利用者11名・職員4名 (応援16名・職員3名) 1回戦 育成園 3 - 6フレンドまつの
9	21	土	平成25年度障がい者親善 ソフトボール大会	喜多小学校裏 河川敷グラウンド	利用者12名 職員5名 1回戦 育成園12 - 8身障者協議会 決勝戦 育成園 3 - 4 大洲幸楽園
10	23	水	平成25年度30回 大洲市障害者スポーツの集い	大洲市総合体育館 雨天実施	利用者100名 (センター利用者含) 職員23名
11	7	金	第31回ゆうあいスポーツ四国 香川”讃々”大会	香川県立丸亀競技場	利用者 12名 職員3名

苦情解決

受付日	受付者	種別	苦情・希望内容等	対応
4月30日 (火)	職員	ケアの内容に関わる事項	・早く起きている利用者の支援をしている声が、離れた部屋まで聞こえ、起床時まで寝ることができないとの訴えがありました。	・職員に十分配慮をして支援にあたるように、職員、夜勤者に話しました。
5月5日 (日)	職員	ケアの内容に関わる事項	・保護者より、預り金収支明細書の項目と金額が一致していないのでは。内容も把握しづらいので解り易くしてほしいとの指摘を受けました。	・被服費・日用品の仕分けを統一して、新たに預かり金収支明細書を作成、再度説明し理解を得ました
5月24日 (金)	職員	ケアの内容に関わる事項	・保護者から、「利用者が帰宅した時に、爪が伸びていた。」又、「面会時に利用者の散髪ができていなかった。」との不十分な支援の指摘を受けました。	・利用者個々に必要な支援をしていくように、サービス管理者から職員指導をしました。
7月10日 (水)	職員	ケアの内容に関わる事項	・利用者から、支援員の言葉に傷ついたとの相談を受けました。	・支援員に事実確認をすると、きつく言った覚えはないとのことでしたが、常に相手の気持ちや立場を考えて、コミュニケーションをとるように心がけ、接していくことを話しました。
10月10日 (木)	職員	ケアの内容に関わる事項	・地域活動支援センター利用の利用者同士で、金銭の貸し借りをしていた状況発覚し、保護者から相談を受けました。	・施設を安心して利用していただけるように、お互いに良好な関係が続くことを願い、保護者の気持ちや都合を聞き、話し合いを継続しています。
11月18日 (月)	職員	ケアの内容に関わる事項	・利用者から、フロアのトイレにペーパーがなく、支援員に伝えてもすぐに付けてもらえなかったとの訴えがありました。	・17時までは日中の支援員が、夜間は夜勤者が確認を怠らず気持ちよく対応していくようにします。
12月20日 (金)	第三者委員	個人の嗜好・選択に関わる事項	・利用者から、地元の老人ホームに入所したい、1月には育成園を辞めたいとの相談を受けました。	・老人ホームを利用できる年齢には達していないので入所は難しいことをお話し、保護者の方ともよく話し合える機会を作れるようにします。また、育成園での生活が楽しく送れるように、コミュニケーションを密にとり接していきます。
12月20日 (金)	第三者委員	ケアの内容に関わる事項	・4月26日に平野運動公園で開催される済美、明德、川之江高校が対戦する野球観戦をしたい。	・情報収集し園外活動等で観戦できるように計画します。
3月24日 (月)	職員	ケアの内容に関わる事項	・短期利用の送迎ミスにより、利用者を一人で1時間以上待たせ不安な思いをさせてしまい、事後の対応に不愉快な思いをしているとの連絡を受けました。	・利用者、保護者の方に不十分な対応についてお詫びしました。再発防止に向けて、連絡確認と誠意ある対応に努めていきます。

* サービス相談日を7月26日、10月2日、12月20日に実施し、第三者委員の3名に来園していただき、利用者の相談に対応していただきました。第三者委員の方と自由に会話を楽しまれました。また、毎月フロアごとに利用者会議を開催し、利用者の思いを聞き、話し合いの場を持ちました。

* 接遇マナー研修を計画し、11月21日、2月18日に実施した。研修会では、言葉づかい、声のトーン顔の表情、身だしなみなどを学び、利用者、保護者、来客に丁寧な対応で接することを学びました。

* 苦情の内容・解決等については、広報誌「つばさ」に載せて情報を公開しました。

利用者会議

【参加状況】

単位：人

実施日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	28日	19日	23日	28日	25日	29日	19日	24日	22日	26日	23日	23日
1F男性	19	17	17	18	18	18	18	16	17		18	17
1F女性	19	18	17	20	20	20	20	20	18		19	20
2F男性	27	27	23	28	25	24	28	27	27		27	27
2F女性	22	20	22	21	21	21	22	21	18		22	17

※1月は、感染症が流行し静養者が多かったため、中止している。

各フロアに分かれて、利用者から進行係を決めて支援者が補助し、なるべく意見等が出やすいよう支援しながら会を進めた。

【議題】

- 生活について（生活面で気になっていることや改善してほしい事等や健康面について）
日用品等の使い過ぎに気をつける事や、電球切れや破損個所の修繕の要望等の早目の対応。
利用者間のトラブルについては、その都度話を言い様子を見た。また、感染症の流行もあり、手洗いやうがいの強化や清掃等に努め、感染予防を利用者一人一人取り組んだ。
- 日中活動について（活動の状況や感想等）
特に活動班でのレクリエーション等は利用者の希望を取り入れながら実施することが出来て「楽しかった、行きたい」等の意見が多かった。
- 食事について（希望メニューや要望等）
リクエストが多くあり、なるべく希望のメニューも取り入れた。食事時のトラブル等はその都度話を言い、気持ちよく食事が出来るよう取り組んだ。
- 行事について（参加した行事の感想や各行事の情報を伝え、参加希望をとる）
各地域の行事や催しもの等は、利用者の希望を取り入れながら参加することが出来て「楽しかった」「また、行きたい」との意見が多かった。
- その他（その月の誕生者の紹介やテーマを決めて話し合う）
その月の誕生者紹介を行い、みんなでお祝いをしている。また特に健康面に気をつけて、元気に笑顔で生活出来るよう話をしている。

リスクマネジメント

(添付資料)

(1)ひやり・はっと報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
服薬	1	1	0	0	3	0	0	0	0	4	0	2	11
転倒	0	1	3	1	1	1	0	0	1	0	1	3	12
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
受傷	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
合計	1	2	1	4	3	2	0	0	2	6	1	5	30

※無断外出～利用者(1名)が施設下住宅の知り合い宅まで行く。

(2)事故報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	4	2	2	1	2	1	1	3	2	1	1	1	21
所在不明	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
誤飲	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
自傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
服薬	1	0	0	0	2	0	2	0	0	1	2	0	8
受傷	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	5
紛失	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
その他	0	1	2	0	0	2	1	1	0	0	0	1	8
合計	6	3	4	2	7	4	2	7	3	2	3	3	49

※所在不明：職員を招集し捜索、警察署にも捜索依頼を行い菅田町大竹地区で発見する

その他：衣装ケース破損・覗き・バックの渡し間違い・個人情報他人の見せた等

※事故報告の延べ件数は49件であった。うち、転倒による報告が21件と全体の約42.8%を占め、前年同様、多かった。利用者の高齢化に伴う筋力低下などから、予防対策や介護支援に力を入れることが必要である。歩行器使用者(8名)車椅子使用者(9名)

また、服薬に関するものが8件と全体の16.0%を占める。管理状況を見直し対策を検討、服薬の準備の仕方、投薬時の声を掛けての本人、薬の確認を徹底した。

*感染性胃腸炎集団発生(6月10日～6月25日)(H26 1月16日～2月3日)

集団発生の疑いで八幡浜保健所の指導を受けた。感染症マニュアルの見直し、シーズン前には研修を行い、感染症予防に努める。

(1) 防火安全対策

① 消防設備等の状況

施設・設備		消防法令による設置義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (3ヶ所) ・無
	避難口 (非常口)	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
	居室・廊下・階段等の内装材料	—	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	防火戸・防火シャッター	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	有 (2ヶ所) ・無
消防用設備	屋内消火栓設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	有 (5ヶ所) ・無
	屋外消火栓設備	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 (ヶ所) ・無
	スプリンクラー設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	自動火災報知設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	非常通報装置	—	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	漏電火災警報器	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	非常警報設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	避難器具 (すべり台・救助袋)	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 (ヶ所) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	誘導灯及び誘導標識	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (32ヶ所) ・無
	防火用水	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	非常電源設備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
カーテン・布製ブラインド等の防炎性能		有	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

② 緊急時連絡網等の整備状況

自動転送システムの設置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	緊急時連絡網等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
-------------	---	--

③ 消防設備の保守点検の状況

業者委託による点検	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2回) ・ <input type="checkbox"/> 無	実施者
自主点検	消火器・自動火災報知機	カンヨー防災 亀岡勝
	屋内消火栓設備	
	誘導灯・スプリンクラー	
	非常通報装置	
	建物等・火気使用設備	

④ 消防署の立入検査の実施

実施年月日	指導指示等の内容
平成25年10月21日	<p>[文書] ありません</p> <p>[口頭] ①自火報発報後、まずは119番で消防署に通報を入れることを再度、通報手順を確認して下さいと指摘がある。</p> <p>②避難後の居室確認について、二度手間にならないように指摘を受ける。</p> <p>③避難訓練実施者同士、コミュニケーションが取れていなかった。</p> <p>④今回、館外のボイラー室からの出火を想定していたが、一度館内を想定し訓練を実施してみてもどうかと指摘がある。</p> <p>⑤初期消火は的確に実施出来ていたが、機械室の扉が開けた状態になっていた。</p> <p>[上記に対する改善措置]</p> <p>①避難訓練実施者4名及び全職員に自火報発報後の通報手順を周知徹底する。</p> <p>②各居室の出入り口にタグの様な物を準備し状況が分かるようにしたい。</p> <p>③避難訓練実施者同士、声をかけ合って避難誘導を行うように説明する。</p> <p>④H26年度に施設内を想定して、避難訓練の実施を計画している。</p> <p>⑤初期消火の必要性を説明した上で、機械室の扉を閉めるように説明する。</p>

⑤ 消防計画及び防火管理者の届出状況

消防計画の消防署への届出（直近）	平成 25年 5月 2日		
防火管理者氏名	西川勝典	（職種）	生活支援員

⑥ 火災発生時の消防機関への通報体制

日中は、火災発見した職員若しくは自火報発報後に、119番通報ボタンを押す。
夜間は、夜勤者2名・宿直者2名計4名体制です。1階男性夜勤者が119番通報ボタンを押す。

⑦ 火災発生時の職員動員体制

自主防衛消防組織編成表に基づき、避難、誘導、消火、搬出に分かれる。

⑧ 夜間防火管理体制

夜間は、夜勤者2名・宿直者2名計4名体制です。

⑨ 近隣住民、近隣施設との協力体制

地域の方、老人ホーム清和園、大洲学園へ協力をお願いしている。

⑩ 防災訓練の実施状況

区 分	実施回数	消防署への 事前届出	消防署の 立会い	訓練記録
避難訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 3 回） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 1回） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 1回） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
救助訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 1 回） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 1回） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 1回） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
通報訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 2 回） <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ 2回） <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 2回） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
消火訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 2 回） <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ 回） <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ 回） <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

（注）1 総合訓練として実施した場合は、上記の区分に従ってそれぞれ記入すること。

夜間又は夜間を想定した訓練を実施した場合は、（ ）書に再掲すること。

（2）地すべり防止危険区域等土砂災害等による災害対策

① 危険区域の指定の有無（有・無）

（指定区域名：土石流 溪流番号207-1070 207-1071 溪流名西岡川、神宮東川 所在地 大洲市平坂）

② 災害発生時の避難計画の有無 「有」の場合計画名を記載

有 大洲育成園 防災計画

③ 災害発生時の職員動員体制

避難勧告発令後、非常招集連絡表により連絡して召集します。

④ 近隣住民、近隣施設との協力体制

地域の方、老人ホーム清和園、大洲学園へ協力をお願いしています。

⑤ 想定される災害に対する訓練の実施状況（前年度）

区 分	実施回数 （うち夜間）	消防署への 事前届出	消防署の 立会い	訓練記録
土砂災害	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 1 回） <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ 回） <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ 回） <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

(3) 地震・津波災害対策

① 施設の耐震対策

耐震化診断の 受検状況	済	※新耐震基準の適合状況 (☑適・不適)	耐震補強の予定 (有・ ☑無)	福祉避難所の指定 (有・☑無)
----------------	---	---------------------	--------------------	--------------------

※建築物の耐震改修の促進に関する法律第7条第2項に規定する建築物

② 危険区域の指定の有無 (□有・☑無) 「有」の場合(指定区域名:

③ 地震・津波発生時の避難計画の有無 「有」の場合計画名を記載

有 大洲育成園防災計画

④ 地震・津波発生時の職員動員体制

※火災・災害時と同様です。

⑤ 近隣住民、近隣施設との協力体制

地域の方、老人ホーム清和園、大洲学園へ協力をお願いしている。

⑥ 想定される災害に対する訓練の実施状況(前年度)

区 分	実施回数 (うち夜間)	消防署への 事前届出	消防署の 立会い	訓練記録
地震・津波	☑有 (1 回) □無	□有 (回) ☑無	□有 (回) ☑無	☑有・□無

(4) 職員への防災教育

4月に自衛消防組織編成表・安全点検責任者配置表等作成し、全職員に対して、消防計画の周知、火災予防上遵守事項、各自の任務及び責任の周知、その他火災予防上必要な事項について説明しました。7月には大洲消防署の職員、2名来園していただき、救急法(心肺蘇生法、AED)の講習、消防署への通報訓練を行いました。H26, 3, 1に大洲育成園防災計画を作成し、全職員に周知し、内容を説明しました。

(5) 重度者への防災上の配慮

施設1階については、重度棟設備(防火区画)となっており、防災扉等の設備がある。

(6) 災害時に必要な備品・食料の備蓄の有無(☑有・□無) (3日分)

職員会及び各種委員会

(1) 職員会

実施日	参加者	内 容
4月23日	12名	1. 施設長挨拶
5月28日	14名	2. 事務連絡
6月24日	17名	3. 施設入所利用者の状況報告
7月24日	15名	4. 日中活動の状況報告
8月28日	15名	5. 各種委員会・行事関係
9月25日	13名	(個別支援・保健給食・広報・企画・サービス リスクマネージメント
11月27日	14名	安全管理・苦情・レクリエーション等)
12月25日	17名	6. その他(研修報告等)
2月25日	11名	上記の内容に沿って会を進め、意見質問等があれば協議、検討した。
3月25日	15名	

10月29日 予定はしていたが、活動の職員配置のため中止。

1月29日 予定はしていたが、感染症等の対策実施で中止。

職員全員に周知するため、会議録の回覧を徹底した。

(2) 日中活動委員会(各班、フロアでの話し合い含)

	件数	内 容
4月	9	利用者担当・班移動・場所担当(各フロアにて話し合い)・フロア居室替えについて・預り金の取り扱いについて
9月	1	記録内容・短期日中一時利用者の保護者への対応・投薬の仕方、連絡の方法、ゴミの出し方、食事支援、班活動の見直し、居室での食事時のテーブル購入について等
10月	1	通院報告書の見直し、投薬データ入力、フロアの掲示板、スタッフの写真の掲示、中庭の活用等について、トイレペーパーや洗濯機、テレビカート等の使用について
11月	1	夜間のトイレペーパー補充について
12月	1	NDの中での通院報告書の使用、ゼリー様での薬の服薬、連絡体制、職員会のあり方、入浴日誌の見直し等について
1月	3	洗濯業務について、担当支援について、活動内容、班のレクリエーション、農場管理、機能訓練等について等(各班にての話し合い)
2月	1	H26年度の生活班編成、班編成、週案の見直し等について
3月	4	班編成移動利用者を見直し、個人園外活動計画書の見直し、H26年度の各担当部署配置、食堂席移動見直し等について

(3) 企画委員会

実施日	内 容	担当者
5月13日 5月20日	<家庭の日> ①内容②イベント③実施日④日程⑤事業報告会⑥講演⑦会食⑦個別懇談等の検討をする。 ※6/30(日)実施予定が6月中旬頃から感染症の発症に伴い中止となる。	4名
4月25日より 実行委員会 を実施す る。	<桃太郎工房松まつり>8/10(土)実施。 就労移行事業所職員5名が実行委員の為、就労支援後に実行員会を実施し内容を検討する。 テーマ：「地域と共に歩む」 ①内容：バザー・アトラクション・盆踊り・お楽しみ抽選会 ・お菓子撒き・手持ち花ぎコーナー ②各部所の担当者等を決める。 当日までの準備を、各担当職員にて進める。6月起案書を提出。 *お楽しみ抽選会に使用の団扇の在庫不足から500枚購入する。	5名
8月2日 9月13日 9月24日	<家族交流行事>10/20実施 ①内容②アトラクション③会場④準備物⑤案内状⑥当日日程 ⑦担当⑧個別面談⑨招待者⑩園周囲の草刈り⑪雨天時の場合等の検討をする。 当日まで、各担当者にて準備を進める。 ※6/30の「家庭の日」に計画していた講演を実施する。	5名
8月22日 9月13日 9月27日 10月11日	<イルミネーション>12/7(土) 実施 実行委員6名 イルミネーションを通して地域の方々と交流を深内容検討し実施する。テーマ「あたたかさに包まれて」アトラクションでは、来園者・利用者一緒に楽しむ事ができた。バザーも地域の方 出店していただきあたたかいイルミネーションを実施する事ができた。	6名
10月5日	<クリスマス会>12/25実施 大洲喜多法人会からケーキの贈呈がある。食事はバイキング会食にする。午後、アトラクションで「のど自慢大会」をしている。	5名
10月5日	<手をつなぐ育成会クリスマス会>12/8実施 アトラクションに出て合唱を披露する。他に軽体操や人形劇を観賞する。	

(4) 広報委員会

4月1日	つばさ・平成25年度春号発行	
5月7日	年間発行回数 (年間4回)、夏号について話し合う。	5名
7月1日	つばさ・平成25年度夏号発行	
8月16日	つばさ・平成25年度秋号について話し合う。	5名
10月1日	つばさ・平成25年度秋号発行	
11月22日	つばさ・平成25年度冬号について話し合う。	5名
1月1日	つばさ・平成25年度冬号発行	
2月18日	つばさ・平成26年度春号について話し合う。	5名

(5)レクリエーション委員会

生活支援員 高橋系子

実施日	内 容	参加者
4月 9日	平成25年度のレクリエーションについて ①実施日②行き先③内容	中岡・富士・高橋
4月22日	平成25年度のレクリエーションについて ①実施日②行き先③内容④グループ分け⑤アンケート	東谷施設長・徳永主任 中岡・大森・高橋
5月 2日	平成25年度のレクリエーションについて ①アンケート結果②行き先③内容	中岡・富士・大森・高橋
7月22日 8月 3日 8月16日 9月 2日 9月30日	9月実施のミニ運動会について ①実施日②場所③時間④内容⑤参加者 ⑥準備⑦食事⑧雨天時⑨その他	中岡・富士・大森・高橋
11月3日	レクリエーション班別ツアー実施に向けて ①実施日②行き先③内容④グループ分け	中岡・大森・高橋
11月26日	レクリエーション班別ツアー実施に向けて ①実施日②行き先③内容④グループ分け⑤アンケート	東谷施設長・徳永主任 中岡・大森・高橋
12月13日	レクリエーション班別ツアー実施に向けて ①行き先(別府温泉・エミフル・坊ちゃん劇場) ②実施日③内容	中岡・富士・大森・高橋
12月30日	レクリエーション班別ツアー実施に向けて ①行き先(エミフル・坊ちゃん劇場) ②実施日③内容	富士・高橋

(6) 保健給食委員会

実施日	内 容	担当者
4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防園内研修会実施について ①期日②場所③対象者④内容を検討する。 ・ゴミの捨て方について ・配膳の支援について ・食事準備時のエプロン使用について ・菓の準備の確認について ・委員会の開催について 	4名
5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間のお茶について ・食事準備時のエプロンについて ・菓の管理について ・爪きり・白癬について ・服装について ・車椅子のメンテナンスについて ・感染症発症時の食事支援について 	4名
6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・うがい用容器について ・食堂用清掃モップの使用方法について ・体重測定記録（パソコン）について ・感染症発症時の職員の体調報告について 	4名
7月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・5月、6月に出た検討事項について、その後の状況確認する。 ・感染症予防園内研修会実施について 	3名
9月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防園内研修会について ・感染症発症時の食事テーブルについて ・食事介助について ・自助食器について ・投薬について ・通院時の服装について ・ゴミの捨て方について 	4名
10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修会の内容確認 	3名
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修について最終打ち合わせ ・自助食器購入について ・服薬ゼリーの使用について ・利用者さんの靴について 	4名
3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅時の薬袋について 	2名
6月13日	<ul style="list-style-type: none"> ☆感染症対策委員会 ・嘔吐・下痢発症のため、蔓延防止対策について 	6名
6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ☆感染症対策委員会 ・嘔吐・下痢発症のための蔓延防止対策見直しについて 	7名
1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ☆感染症対策委員会 ・嘔吐・下痢発症者疑いあり、蔓延防止対策について 	5名
1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ☆感染症対策委員会 ・感染性胃腸炎発生疑いのため、蔓延防止対策について 	2名
1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ☆感染症対策委員会 ・感染性胃腸炎発生のため、蔓延防止対策について 	6名

(7) 倫理委員会

実施日	内 容	担当者
5月13日	<ul style="list-style-type: none"> 施設内研修の実施に向けて検討する。 ①日時:平成25年6月18日②場所:作業棟F会議室③対象者:職員 ④内容:虐待倫理に関する事、法人内部、現場での虐待、人権擁護、支援計画に至る内容等について講師:五島裕子氏を招いて講演を依頼する。 	4名
6月18日	13:15~15:00 講演実施 テーマ「障がい者の人権擁護・虐待防止」 講師:ウィルビィフェシブルセンター相談員:五島裕子氏	25名参加
7月5日	講演後の反省、今後の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> 講演資料の中の「施設・地域における障がい者虐待防止チェックリスト」を活用していく。 職員全員にチェックリストを行ってもらい、回収し、結果をまとめ、改善の対応を検討していく。 	3名
8月	「施設・地域における障がい者虐待防止チェックリスト」にてチェックを実施する。	47名
11月1日	<ul style="list-style-type: none"> 「障がい者虐待防止チェックリスト」のまとめを行う。 結果を考察し、大洲育成園の虐待防止マニュアルを明確にしたものを作成する。 大洲育成園として使いやすい「虐待防止チェックリスト」を作成する。 	4名
11月22日	虐待防止マニュアル作成について検討する。	4名
12月8日	「大洲育成園虐待防止マニュアル」の作成において修正をする。	4名
1月15日	「大洲育成園虐待防止マニュアル」の周知方法を検討し、職員に配布する。	3名